

二〇二三年六月四日

緑陰のベンチに独り瞑想す	わかば
車前草の轍のあとに起ち直る	よう子
大淀を撫でゆく茅花流しかな	はく子
江戸と伊勢陣を分かちぬ菖蒲園	たか子
万緑に七堂伽藍鐘響く	わかば
葉桜となりし長堤人まばら	宏 虎
ホームランボールを探す苜蓿	ぼんこ
温顔の石仏ならぶ青葉影	なつき
迎へ梅雨土の匂へる田舎路	愛 正
茶柱の新茶に和む老夫婦	かかし
合歓の花長きまつ毛にさも似たり	こすもす

毎週句会秀句・みのもる選・二〇二三年六月五日